

第128回 (令和4年2月) 情報処理技能検定試験(表計算) 4級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表を完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 試験時間は20分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

顧客名	商品名	標準価格	リサイクル料
大島 あき	A	350,000	4,730
内藤 正樹	B	290,000	3,740
長谷川 心	C	460,000	5,600
関 信一郎	D	170,000	2,970
小野 由美	E	430,000	5,200
金子 文雄	F	210,000	2,530
山口 理江	G	380,000	5,060

<処理条件>

- <出力形式>のような家電販売一覧表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
- 値引額=標準価格×13%
請求金額=標準価格－値引額＋リサイクル料
ポイント=(標準価格－値引額)÷100
- 合計・平均(整数未満四捨五入の表示)を求めなさい。
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)

<出力形式>

家電販売一覧表

顧客名	商品名	標準価格	値引額	リサイクル料	請求金額	ポイント
合 計	——					
平 均	——					

第 1 2 8 回 (令和4年2月) 情報処理技能検定試験(表計算) 3 級問題

<問 題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表を完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

CO	リース先名	商品名	基本料金	日数
101	中央企画	E	74,300	45
102	アオヤマ	F	79,600	38
103	中川商事	G	60,400	42
104	ST総業	H	81,700	40
105	佐藤工業	I	68,500	37
106	いしかわ	J	86,800	30
107	大島建設	K	76,100	36
108	満天食品	L	91,900	34
109	松山建設	M	57,200	48

<割引率表>

日数	割引率
40 以上	4.7%
それ以外	3.8%

<処理条件>

- <出力形式>のようなリース料金一覧表を作成しなさい。（——の部分は空白とする）
- 超過料金＝基本料金÷30×0.5×(日数－30)（整数未満切り捨て）
- 割引率は<割引率表>を参照し、求めなさい。（%の小数第1位までの表示とする）
割引額＝基本料金×割引率（整数未満切り上げ）
請求額＝基本料金＋超過料金－割引額
- 合計・平均（整数未満四捨五入の表示）・最大を求めなさい。
- 構成比率＝請求額÷請求額の合計（%の小数第1位未満四捨五入の表示）
- 請求額の昇順に並べ替えなさい。
- 罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）

<出力形式>

リ ー ス 料 金 一 覧 表

CO	リース先名	商品名	基本料金	日数	超過料金	割引率	割引額	請求額	構成比率

(途 中 省 略)

——	合 計	——		——		——			——
——	平 均	——		——		——			——
——	最 大	——		——		——			——

第 1 2 8 回 (令和 4 年 2 月) 情報処理技能検定試験(表計算) 準 2 級問題

<問 題>

1. 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
2. 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
3. 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

社ＣＯ	社員名	出張日数	出ＣＯ	販売額
101	久保田 心	8	2	1,526,500
102	大川 英樹	10	1	2,148,100
103	鈴木 清子	7	3	1,723,300
104	南 さやか	5	4	1,259,400
105	松山 哲夫	9	3	1,867,100
106	小坂 一郎	6	2	1,482,900
107	佐藤 恵美	11	1	1,985,600
108	田中 雄二	12	4	2,291,200

<出張先テーブル>

出ＣＯ	出張先
1	北海道
2	東北
3	九州
4	四国

<乗率表>

販売額	乗率
200万以上	⇒ 5.9%
150万以上 200万未満	⇒ 5.2%
150万未満	⇒ 4.7%

<処理条件>

1. <出力形式1>のような出張販売支給額一覧表を作成しなさい。(――の部分空白とする)
2. 出張先は<出張先テーブル>を表検索しなさい。
3. 出張手当=3,810×出張日数
4. 乗率は<乗率表>を参照し、求めなさい。(％の小数第1位までの表示とする)
販売手当=販売額×乗率(整数未満切り捨て)
支給額=出張手当+販売手当
5. 出張手当が30,000以上で販売手当が80,000以上に“A”の判定をしなさい。
6. 合計を求めなさい。
7. 出張手当の昇順に並べ替えなさい。
8. 出張販売支給額一覧表の出張先のセル証明をしなさい。
9. <出力形式2>のような処理をしなさい。すべて¥表示とする。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)
10. 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
11. 出張販売支給額一覧表の支給額の値を社員名別の縦棒グラフにしなさい。
タイトルは“社員別の支給額”とし、凡例は“支給額”とする。

<出力形式1>

出張販売支給額一覧表

社ＣＯ	社員名	出張日数	出ＣＯ	出張先	出張手当	販売額	乗率	販売手当	支給額	判定
(途中省略)										
――	合 計	――	――	――			――			――

<出力形式2>

	出張手当	販売手当	支給額
平 均			
最 大			
最 小			

第 1 2 8 回 (令和 4 年 2 月) 情報処理技能検定試験 (表計算) 2 級問題

< 問 題 >

1. 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
2. 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
3. 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

< 入力データ >

貸CO	貸出先名	商CO	日数
11	新東海工業	101	10
12	ASD総業	104	15
13	小野寺商事	102	20
14	ヤマキ物産	103	13
15	大古田電機	102	19
16	まるか商店	103	14
17	西日本建設	101	18

< 商品テーブル >

商CO	商品名	1日料金
101	商品W	8,360
102	商品X	6,140
103	商品Y	7,430
104	商品Z	5,920

< 基本料金の計算式 >

日数	基本料金
14 以下	1 日料金 × 日数
それ以外	1 日料金 × 日数 × 0.8

< 割引率表 >

基本料金	割引率
10 万以上	6.8%
9 万以上 10 万未満	5.7%
1 以上 9 万未満	4.5%

< 評価表 >

日数	貸出料金	評価
20 未満 かつ 100,000 以上		A
20 未満 かつ 90,000 以上 100,000 未満		B
それ以外		C

< 処理条件 >

1. <出力形式1>のような基本料金計算表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
2. 商品名・1日料金は<商品テーブル>を表検索しなさい。
3. 基本料金は<基本料金の計算式>を参照し、求めなさい。
4. 合計を求めなさい。
5. <出力形式2>のような貸出料金一覧表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
6. 日数・基本料金は、基本料金計算表を表検索しなさい。
7. 補償料 = 基本料金 × 4.2% (整数未満切り上げ)
8. 割引率は<割引率表>を参照し、求めなさい。(% の小数第1位までの表示とする)
割引額 = 基本料金 × 割引率 (整数未満切り上げ) 貸出料金 = 基本料金 + 補償料 - 割引額
ポイント = 貸出料金 × 1.7% (整数未満切り捨て)
9. 評価は<評価表>を参照し、求めなさい。
10. 合計を求めなさい。
11. 日数の多い順に並べ替えなさい。
12. 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
13. 貸出料金一覧表の基本料金と評価のセル証明をしなさい。
14. 貸出料金一覧表の貸出料金の値を貸出先名別の横棒グラフにしなさい。
タイトルは“貸出料金の比較”とし、凡例は“貸出料金”とする。

< 出力形式 1 >

基 本 料 金 計 算 表

貸CO	貸出先名	商CO	商品名	1日料金	日数	基本料金
(途 中 省 略)						
——	合 計	——	——	——		

< 出力形式 2 >

貸 出 料 金 一 覧 表

貸CO	貸出先名	日数	基本料金	補償料	割引率	割引額	貸出料金	ポイント	評価
(途 中 省 略)									
——	合 計				——				——

第 1 2 8 回 (令和 4 年 2 月) 情報処理技能検定試験(表計算) 準 1 級問題

<問 題>

1. 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
2. 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
3. データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
4. 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

CO	基準価額	口数
101	10,370	1,400,000
102	12,560	1,300,000
103	11,450	1,500,000
104	13,190	1,600,000

※<出力形式1>で使用する。

CO	基準価額	口数
101	11,080	900,000
101	11,290	500,000
102	13,270	800,000
102	13,540	500,000
103	12,370	700,000
103	12,680	800,000
104	14,130	900,000
104	14,260	700,000

※<出力形式2>で使用する。

<銘柄テーブル>

CO	銘柄
101	優良株オープン
102	新興国ファンド
103	バランス30
104	中国株ファンド

<買入手数料の計算式>

約定金額	買入手数料
170万以上	約定金額×0.86%
それ以外	約定金額×0.97%

※買入手数料は整数未満切り捨て。

<売却手数料の計算式>

約定金額	売却手数料
100万以上	約定金額×0.76%
それ以外	約定金額×0.87%

※売却手数料は整数未満切り捨て。

<処理条件>

1. <出力形式1>のような投資信託買入一覧表を作成しなさい。(——の部分は空白とする)
2. 銘柄は<銘柄テーブル>を表検索しなさい。
3. 約定金額=基準価額×口数÷10,000
4. 買入手数料は<買入手数料の計算式>を参照し、求めなさい。
買入割引=買入手数料×7%(整数未満切り上げ) 支払金額=約定金額+買入手数料-買入割引
5. 合計を求めなさい。
6. <出力形式2>のような投資信託売却一覧表を作成しなさい。(——の部分は空白とする)
7. 銘柄は<銘柄テーブル>を表検索しなさい。
8. 約定金額=基準価額×口数÷10,000
9. 売却手数料は<売却手数料の計算式>を参照し、求めなさい。
売却割引=売却手数料×6%(整数未満切り上げ) 受取金額=約定金額-売却手数料+売却割引
10. 口数が90万以上または受取金額が100万以上に“良好”の評価をしなさい。
11. 合計を求めなさい。
12. 受取金額の少ない順に並べ替えなさい。
13. 投資信託売却一覧表を基に<出力形式3>のような処理をしなさい。
14. 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
15. <出力形式3>の受取金額を銘柄別の円グラフにしなさい。
タイトルは“受取金額の構成比”、凡例は銘柄とし、%の小数第1位までの表示とする。

<出力形式1>

投資信託買入一覧表

CO	銘柄	基準価額	口数	約定金額	買入手数料	買入割引	支払金額
(途中省略)							
——	合 計	——					

<出力形式2>

投資信託売却一覧表

CO	銘柄	基準価額	口数	約定金額	売却手数料	売却割引	受取金額	評価
(途中省略)								
——	合 計	——						——

<出力形式3>

銘柄別集計表

銘柄	売却手数料	受取金額
優良株オープン		
新興国ファンド		
バランス30		
中国株ファンド		

会社名が小西貿易以外の受取額の合計	
手数料が 15 万円以上 20 万円以下の件数	
売上数が 500 以上で受取額が 200 万円未満の手数料の平均	

第128回（令和4年2月）
情報処理技能検定試験（表計算）
初段 問題

試験時間	30分
------	-----

1. <入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成しなさい。
2. 表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
3. <出力形式>に「合計」「平均」などがある場合は、関数により処理を行うこと。ただし「——」部分は空白とする。
4. 表には罫線を引くこと。（罫線の太線と細線は区別する。外枠は太線とする。）
5. 使用したテーブルの表の形式は問わない。
6. [] 内文字はシート名とする。テーブルや作成する表にシート名があるものは、それぞれこのシート名でシートを作成し、処理を行うこと。
(例 <出力形式1> [前期]・[中期]・[後期] →前期、中期、後期の各シートを作成し、それぞれ指示された表を作成する。)
7. 作成したデータは事前に準備したファイル（初段・受験番号・名前）に上書き保存する。
(例：初段101日検太郎)

問題

＜入力データ＞（各 24 件）※テキストデータは SPS フォルダ内データを使用する。

〔前期〕

販CO	商CO	販売数
11X	101	139
11X	102	227
11X	201	210
11X	202	129
12Y	101	135

• • •
• • •

15X	202	189
16Z	101	243
16Z	102	168
16Z	201	87
16Z	202	120

〔後期〕

販CO	商CO	販売数
11X	101	198
11X	102	208
11X	201	120
11X	202	139
12Y	101	216

•	•	•
•	•	•

15X	202	137
16Z	101	247
16Z	102	95
16Z	201	104
16Z	202	162

＜販売先テーブル＞ [テーブル]

販CO	販売先名	利益目標
11X	ショップ泉	485,300
12Y	秋山堂	541,800
13Z	里海洋品店	534,000
14Y	O J I M A	510,200
15X	川谷商事	492,300
16Z	岩波百貨	452,500

＜商品テーブル＞ [テーブル]

商C O	商品名	原価
101	商品A	1,691
102	商品B	2,084
201	商品C	1,739
202	商品D	2,167

＜利益率表＞ [テーブル]

販売数	商C〇の下1桁	
	1	2
1 以上 140 未満	32%	31%
140 以上 210 未満	29%	28%
210 以上	26%	25%

＜割引率テーブル＞ [テーブル]

区分	割引率
X	3.1%
Y	3.5%
Z	3.7%

※区分は販C Oの右から1文字目。

＜処理条件＞

1. <入力データ>（テキストデータ、日本語シフト J I S、C S V形式）、<販売先テーブル>、<商品テーブル>、<利益率表>を使用し、<出力形式 1 >のような表をそれぞれのシートに作成。

<出力形式1> [前期] ・ [後期]

[illegible]

(途 中 省 略)

—	合 計	—	—	—	—	—	—
---	-----	---	---	---	---	---	---

- 1) 販売先名、商品名はそれぞれ＜販売先テーブル＞、＜商品テーブル＞を表検索。
- 2) 定価＝原価×(1＋利益率) (10 位未満四捨五入)
- 3) 値引額は、販売数が 210 以上または定価が 2,800 以上の場合、定価×販売数×7.9%、それ以外は、定価×販売数×6.1% (10 位未満切り上げ)
- 4) 販売額＝定価×販売数－値引額
利益額＝販売額－原価×販売数

2. <出力形式1>を基に、<出力形式2>のような表を作成。

<出力形式2> [計算表]

商品別集計表

商品名	販売数	販売額	利益額

(途 中 省 略)

合 計			
-----	--	--	--

- 1) 販売数、販売額、利益額は、それぞれのシートの同項目の値を集計し合算。

3. <出力形式1>、<販売先テーブル>、<割引率テーブル>を基に、<出力形式3>のような表を作成。

<出力形式3> [計算表]

販 売 先 別 請 求 額 計 算 表														
販CO	販売先名	前期			後期			年間			達成率	割引額	請求額	判定
		値引額	販売額	利益額	値引額	販売額	利益額	値引額	販売額	利益額				
(途 中 省 略)														
—	合 計										—			—

- 1) 販売先名は<販売先テーブル>を表検索。
- 2) 前期・後期の各値引額・販売額・利益額は、基表の同項目の値を集計。
- 3) 年間の値引額・販売額・利益額は、本表の前期・後期の同項目の値を合算。

4) 達成率= $\frac{\text{年間の利益額}}{\text{利益目標}}$ (%の小数第1位未満切り捨て)

割引額=年間の販売額×割引率 (100位未満切り捨て)

請求額=年間の販売額－割引額

- 5) 判定は<判定表>を参照し求める。

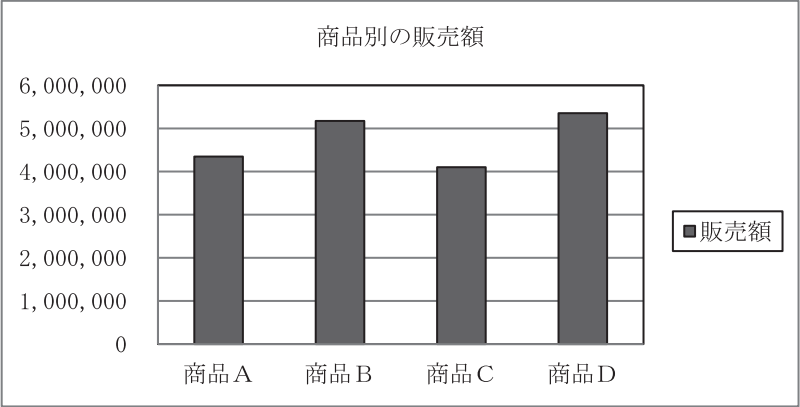
<判定表>

達成率		年間の利益額	判定
100.0%以上	かつ	年間の利益額の平均以上	**
それ以外			*

- 6) 請求額の降順に並べ替える。

4. <出力形式2>を基にグラフを[計算表]シートに作成。

- 1) グラフの種類は、商品名別の販売額の縦棒グラフ。
- 2) グラフタイトル、凡例は以下のとおりにする。



5. <出力形式3>を基にグラフを[計算表]シートに作成。

- 1) グラフの種類は、販売先名別の年間の利益額の割合を表す円グラフ。
- 2) グラフタイトル、凡例、データラベルの表示形式は以下のとおりにする。

